RENESAS GR-KAEDE USB ファームウェアのインストール方法

GR-KAEDE [通販コード M-09520] をご購入いただきありがとうございます。 USB マスストレージライクなプログラム書き込みを実現するために USB ファームウェアを GR-Kaede ボードにインストール (書込み)するための手順を、下記にてご案内いたします。

1. ご用意いただくもの

- Windows PC (Windows Vista, 7, 8, 8.1 [32/64bit])
- ・USB ケーブル (Aオス-マイクロBオス)
- ・GR-KAEDE ボード

2. インターネットからダウンロードしていただくもの

1 ノターネットからタリノロートしていこにくもの (下記 URL にリンクがございます) http://japan.renesasrulz.com/gr_user_forum_japanese/b/weblog6/archive/2015/07/27/gr-kaede-usb.aspx

- Renesas Flash Programmer (RFP) (RFP をダウンロードしたら、お使いになる Windows PC にインストールしてください)
- ・usbfirmKAEDE_20150727.mot (USB ファームウェア) (ダウンロード先は、Cドライブのルートディレクトリ(最上位階層)か、デスクトップが便利です)

3. GR-KAEDE ボードのスイッチ設定

・GR-KAEDE ボードの J7(スライドスイッチ)を 右のように設定してください。



4. GR-KAEDE ボードと PC の接続

・USB ケーブルを使って GR-KAEDE ボードと PC を接続してください。

5. GR-KAEDE ボードと PC の接続

・RFP を起動してください。

6. RPF のワークスペース作成

- ・以下の手順に沿ってワーク
 スペースを作成してください。
- ・起動時に右の画面が表示され ます。「Full モード」を選択して 「次へ」進んでください。

د الجعود الج
● 新しいワークスペースの作成(<u>W</u>)
○ Basicモード(B) ● Fullモード(F)
◎ 前回使用したワークスペースを情べむ
次へ(N) キャンセル(C)

- ・ターゲット・マイクロコンローラで 「RX」、「Generic Boot Device」を 選択し、ワークスペース名と 作成場所を設定して「次へ」進んで ください。
 - ワークスペース名の例: "kaede_usbfirm"

彩	しいワークスペースの作成		×
	マイクロコントローラ(M): す/ フィルレダ(E):	<u> </u>	
L	使用するターゲット・マイクロコントロー		
ľ	910-7 PV	Renaria Root Davisa	f用,E'I首 報道
l	EN100/EDIE)	Generic Boot Device	
	RX200(FINE)	Generic Boot Device	
	RH850	Generic Boot Device	
	V850E/MA3	LIPD70F3134A	Device version:ES2 fl.or.later
	V850E/MA3	LIPD70F3134B	Device version ES2.0 or later
	V850E/IA3	UPD70F3184	
	V850E/IA4	UPD70F3186	
	V850E/SJ3-H	UPD70F3474	For CSIB0+HS, UARTA0
	V850E/SJ3-H	UPD70F3474	For CSIB3+HS, UARTA0 -
	ワークスペース名(W): kae プロジェクト名(P): kae 作販成場所(L):	de usbfirm de usbfirm	, 参照_(B)

・使用ツールとして「USB Direct」 を選択して「次へ」進んでください。

通信方式	×
USB	使用ツール(T) USB Direct ・ 接続方式(I) USB ・
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ・以降のダイアログはすべてデフォル
 トのまま「OK」を選択して進めて
 ください。
- ・右のワークスペースが表示されます。

Lacde_usbfw	本数数定 その他の設定 ラパイス集都 デパイス条 デパイス条 デパイス条 デパイス集 デパイス条 デパイス集 デパイス条 デパイス集 デパイス デパイス集 デパイス デパイス集 デパイス デパイス集 デパイス デパイス デパイス アール 調整ディボ B クロック 入力りロック (MHz)	RV64M Group Generic Boot Device CWUex485014000MAppCataWLocaWPenetas コマンドプログランスモード リトはエンディアン 0000001 USB Direct USB 12,00000
Data-Flash block size \$4 byte Data-Flash number of blocks: 1024 その他の情報を取得します。 入力開発数でになって Clock 現代デバイン、120KM Group'、使用ウール・ 構成が成功しました) = 1200000MHz,周辺2Dワック = 48000000MHz USB Direct、接続方式、USBY	E##7

7. ファイル追加

- ・右のようにファイルツリーのプロ ジェクトを右クリックし、「プログ ラム・ファイルの追加」を選択し てください。
- ・事前にダウンロードした USB ファームウェア (.mot ファイル) を指定してください。



 ファイルが追加されると右の ようになります。



8. 書込みの実施

- ・追加された USB ファームウェアを 右クリックしてください。
- ・「書き込み」を左クリックしてくだ さい。



- ・書き込みが終了したら、右のように
 ツールバーの「マイクロコント
 ローラ」を右クリックしてください。
- 「デバイスとの切断」を左クリック してください。



9. 動作確認

- ・書き込みを終えたら、一旦 GR-KAEDE ボード から USB ケーブルを取り外します。
- ・GR-KAEDE ボードの J7(スライドスイッチ)を 右のように設定してください。
 - 1: OFF 2: OFF 3: OFF 4: ON
- ・スライドスイッチの設定が終わったら、 USB ケーブルを再度接続してください。 LED1 ~ LED4 が点滅したら正常動作です。



- ・GR-KAEDE ボードの「RESET」スイッチを押すと、LED1 ~ LED4 が点滅から全点灯に なります。
- ・接続している Windows PC にマスストレージデバイス (「リムーバブル記憶域がある デバイス」) として一意のドライブレターが付与されます。デバイス (リムーバブル ディスク) 名は 「GR-KAEDE」です。